

まさかつじんじゃずいしんもん  
78. 當勝神社隨身門

■ 指定日

昭和47年4月1日

■ 種別

有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市山東町栗鹿

■ 所有者

當勝神社



■ 内容

切妻造り、軒唐破風付き、礎石建ちの唐門で、屋根は桧皮葺である。様式は唐様で柱は角柱。正面の軒唐破風につけらえた兎毛通や、破風下の力士像、梁上正面の竜、背面の獅子の彫刻、また組物間の透し彫を施した墓股、さらに梁、木鼻などに見られる絵様彫刻に江戸後期(中期説もある)の手法がみられる。

小屋組、軒回りおよび板壁などに後補の跡があるが、そのほかは比較的当初のまま保存されている。また、出入口が直角になっていないことも注目すべき点である。